

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島 港町 塩口24
電話 2-9772



年度末を迎え、今年度取り組んできた社会教育の状況を報告いたします。

社会教育人材の育成

◎社会教育委員研修

管内の社会教育委員の活動を活性化するために年二回研修会を実施しています。社会教育委員の役割や社会教育の現状を学ぶ「基礎講座」と地域の課題を考え対応するための「地域課題講座」です。

「基礎講座」は隠岐の島町で開催され、二十六名の参加者でした。島根県教育庁社会教育課横田康グループリーダーより、「しあねが目指す社会教育」（方向性と社会教育委員に期待したいこと）というテーマで講義があり、各委

員は、県の方針が「地域課題の解決を担うひとづくり」であることや、「自らが主体的な生涯学習者であつてほしい」ことなどを学びました。

「地域課題講座」は、西ノ島町で開催され、こちらも二十六名の参加でした。知夫村教育委員会の佐次雅美教育長をお招きし、「しあねのまちづくり」というテーマで講話いただきました。佐次教育長からは、依存型から参加型、評論型から参画型への移行などの大切な方向性が示されました。



◎社会教育研修センター 人材育成研修

本年度も、東部・西部社会教育研修センターが開催する「社会教育にかかわる人材養成研修」が隠岐地区でも行われました。いくつも行われた講座の中から、「コーディネーター研修」について紹介します。

コーディネーター研修は、「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」事業の支援者を対象に、「学校支援」「放課後支援」「家庭教育支援」などの事業への理解を深め、学校・家庭・地域の効果的な連携・協働の進め方を具体的に考える研修です。

ふるさと教育の充実

今年度も各中学校校区におい

て、小中連携を図り、ふるさと教育全体計画及びふるさと教育一覧表を作成いただきました。そして、その計画に従って、地域資源を有効に活用しながら取り組んでいただけるよう支援してきました。

その支援の一つとして「学校と地域の連携実践研修」を開催しましたが、参加者が少なく、開催方法や事前の情報発信等に課題が残りました。

参加された方からは、「他の地域の様子がわかり参考になった」と前向きな感想が聞かれました。

公民館活動の充実

◎公民館ふるさと教育 推進事業

今年度取り組んだ五箇公民館と都万公民館の活動の様子を報告します。

□五箇公民館の取組

《第五十回五箇地区冬期体力づくり教室（暁の寒稽古）》
小中学生、地域の方を合わせて総勢約百五十名が参加し、七日間毎朝、六つのコー

スに分かれて体を鍛えました。今回で五十回目ということで、のぼり旗をたてたり、参加者全員に記念品を配布したりするなど、改めて地域一体で取り組もうとする機運醸成を図りました。

参加者からは、「五十年の永さと重みを感じた」「時代に合わせて変えることも必要」など貴重な声も上がり、この事業を次世代にまで続ける必要性を感じました。

□都万公民館の取組

《ふるさと発見 隠岐の島》
小学生対象の「マリンスポーツ体験」、中学生対象の「ふるさと体験活動」の二つの事業を行いました。

どちらの事業も、子供たちと地域の方が一緒になって、海での活動を中心に生活体験しました。子供たちは、ふるさとの自然の良さに気づくとともに、人のつながりの心地よさにも触れることができました。貴重な体験となりました。また、地域の方にとっても、子供たちと一緒に活動するなかで、改めてふるさとを見直す機会となりました。

社会人権・同和教育の 充実

地域ぐるみで人権・同和教育を推進するために、島根県同和教育推進協議会連合会（隠岐ブロック）と連携して、研究集会を開催しています。

今年度は、西ノ島町で開催し、夜回り先生として有名な水谷修氏から、「今、子供たちは…」という演題でご講演いただきました。

様々な子供たちと接してきた経験をもとにしたお話で、「どんなことでも評価してあげる」など子供のとらえ方や対応の姿勢について、大切な示唆をいただきました。

（文責 林）

